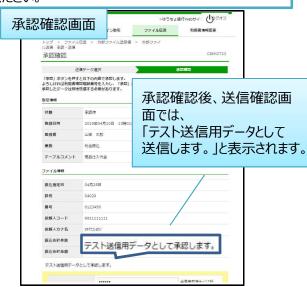
りょう ゆうちょ銀行

テスト送受信実施時のご注意(ブラウザ受付をご利用のお客さまは不要です)

テスト送受信を行うことで、ファイルが正しい形式で作成されていることを確認できます。 テスト送信を以下の手順で行い、テスト受信データを受信できれば、テスト送受信は完了です。 送金先・引落先の口座番号および氏名の確認は、口座確認(自動払込みは0円データによる照会)を ご利用ください。

①「テスト送信用データとして登録する」のチェックボックスを図してから、「登録」ボタンを押してください。 チェックがあると「テスト用」、チェックがないと「本番用」のデータとして登録しますので、十分ご注意ください。 テストデータとして登録した場合は、「承認確認」画面や「送信確認」画面の下部にその旨が表示されますので、 承認者と送信者は、操作時にテストデータであることを確認してください。





- ②取扱日は、テスト送信でも、本番のデータ送信同様にデータのチェックが行われます。 そのため、テスト時点で指定可能な日付(ゆうちょ銀行営業日、30日以内の日付)を設定してください。 ※過去日や1月1日等の非営業日は、指定できません。
- ③振込先口座および自動払込みの支払人口座は、本番データ同様に口座を指定してください。 ダミーデータを利用する場合は、以下の点にご注意ください。

ゆうちょ銀行口座:テスト用記号番号一覧を利用してください。

他金融機関口座:金融機関コードおよび支店コードは、実存する番号を入力してください。

④受信データはテスト送信実施直後にご確認いただけますが、 データの処理状況によりお時間がかかることがございます。 (数時間程度)

受信可能になると、「受信データ選択」画面の「備考」欄に「テスト送信」と表示されたデータが返却されます。

※自動払込み(ゆうちょ形式)において、再払込日を 設定した場合は、同じタイミングでデータが2ファイル返却 されます。



⑤受信データの処理結果コードには、ダミーのエラーコードが表示されます。 実際の口座の存在有無や処理の可否とは関係がありません。

り ゆうちょ銀行

テスト用記号番号一覧(ダミーデータを利用する場合)

テスト送信の際は、本番データをそのまま利用してください。 なお、ダミーデータを利用する場合は、以下の記号番号を利用してください。 媒体仕様説明書に記載のとおり、記号は5桁のうち中3桁・番号は最後の「1」を除いた7桁で設定してください。 例)記号 11520 ⇒ 152 番号 12000011 ⇒ 1200001

記号	番号	記号	番号	記号	番号
11520	12000011	11550	12000111	11580	12000211
11540	12000021	11570	12000121	11500	12000221
11560	12000031	11590	12000131	11520	12000231
11580	12000041	11510	12000141	11540	12000241
11510	12000051	11540	12000151	11570	12000251
11530	12000061	11560	12000161	11590	12000261
11550	12000071	11580	12000171	11510	12000271
11570	12000081	11500	12000181	11530	12000281
11590	12000091	11520	12000191	11550	12000291
11530	12000101	11560	12000201	11590	12000301

2024年2月現在